

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 埼玉県熊谷市立久下小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒360-0026

埼玉県熊谷市久下808番地

E-mail : \_\_\_\_\_

Website : <http://www.kumagaya-kuge-e.ed.jp>

児童生徒数：男子 139 名 女子 128 名 合計 267 名

児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①環境教育（熊谷市に住む絶滅危惧種ムサシトミヨの保護・繁殖活動）

児童委員会「エコクラブ委員会」（5年生4名、6年生4名）のメンバーを中心に活動しています。主な仕事は、敷地内にあるトミヨ池の水温測定（取水口と池の排水口）・池周辺の清掃・整備、水草の育ち具合を見て水草の補充（プランタに植えて沈ませる）をします。全校集会（トミヨ集会 11月24日）で全校へアピールすることも大切な仕事の1つです。

熊谷市から保護繁殖の依頼を受け、20匹のムサシトミヨが池に放流されます。これを1年かけて大切に育て、1年後にどのくらい増えているかを調べます。（繁殖調査）今年は、11月1日（木）に行われ、83匹のムサシトミヨを確認できました。毎年11月に環境科学国際センターの金澤光さんのご指導をいただきながら、熊谷市の環境政策課や、地域のムサシトミヨを守る会の方々とともにに行っています。池の水を抜きながら水草やプランターを水から出し、その中にあるムサシトミヨを見つけ大きさに沿って並べ、数や生態を調べます。毎年作業が終わるとトミヨ池に20匹をもどし、残りは市の職員や守る会の方といっしょに近くを流れる元荒川に放流します。

また、今年度は7月に秋田県で行われた「湧水保全フォーラム全国大会 in みさと」に参加し、本校で行

っているムサシトミヨの保護・繁殖活動についての報告をしてきました。



## ②食育 (全校で取り組んだ食育授業)

### ○1年生の授業(特活)「正しいおはしのもちかたでおはしの先生になろう」

いろいろな箸の持ち方で食事をする児童が増えてきていることから、正しい箸の持ち方を学習することで食べる姿勢がよくなったり、鉛筆の持ち方もよくなったりしています。また、正しい箸の持ち方を手作りの教材で、楽しく実践を取り入れ再確認しながら学習しました。

### ○2年生の授業(特活)「食べものはたらきについて知ろう」

給食で使用されているいろいろな食品を知り、その働きがわかったことで好き嫌いをしないで食べようとする姿が見られ、給食の残量も減ってきました。授業では、ワークシートの活用により、家庭でもバランスよく食べようとする意識が高まっています。

### ○3年生の授業(特活)「すききらいをしないで食べよう」

食品の3つ(赤・青・黄)の働きを知り、給食の献立は3色がバランスよく取り入れられて作られていることに気付き、残さず食べようとする態度が身に付いてきました。

### ○4年生の授業 「すくすく育つためにはどんなことに気をつけたらよいか」

授業当日の給食献立から3つに分類した食べ物が自分たちの成長にどのようにかかわっているのかを知ること、3色の食品の役割を意識して成長するためにバランスよく食べようとする意欲が見られました。

### ○5年生の授業 「食べて元気に」

見やすく分かりやすい教具の活用で興味・関心をもって授業に臨むことができました。三大栄養素と合わせて五大栄養素の役割を知ること、バランスよく食べることの大切さを理解させることができました。

### ○6年生授業 「バランスのよい1日分の食事を考えよう」

三食しっかり食べることは大事だと分かっているも「どのように」となると漠然としていましたが、学習を通して科学的な視点から一日分の必要栄養素を知ったことで三食をバランスよく食べることの大切さを知り、一日分の献立を意欲的に立てることができました。



(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )